学校通信

中　神

令和６年１月 31 日
昭島市立中神小学校
校 長　　松 井　　茂

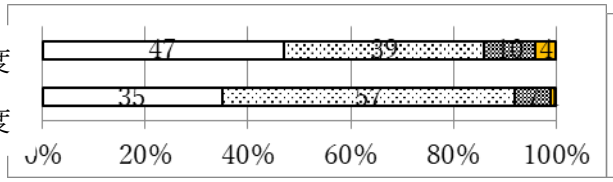
保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

副校長　杉本　幸司

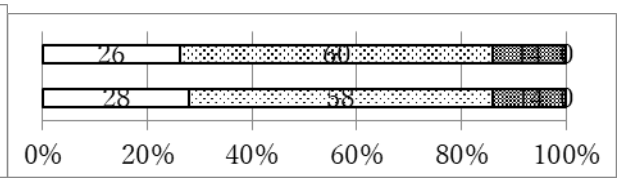
児童・保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。お陰様で回答率が児童・保護者ともに 87.5%に達しました。感謝申し上げます。以下、結果をお知らせします。
※全ての項目について、それぞれ左から「４　とてもそう思う　３　そう思う　２　あまり思わない　１　そうは思わない」を表します。

【確かな学力】
学校は授業を工夫している。

児　童

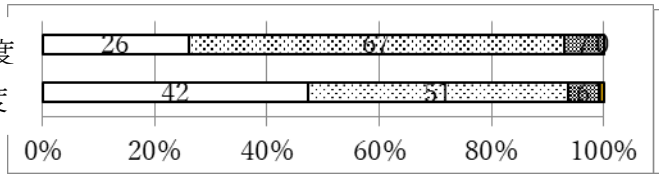


保護者

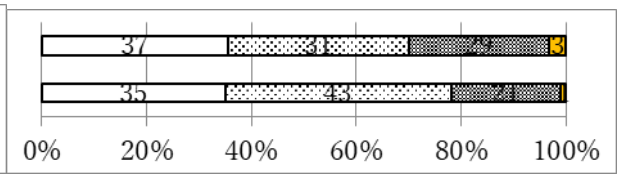


タブレット端末を学習で有効に活用している。

児　童

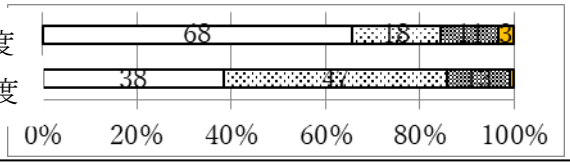


保護者

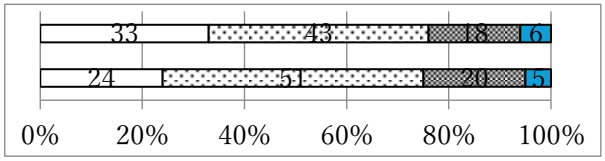


家庭学習の習慣が身に付いている。

児　童



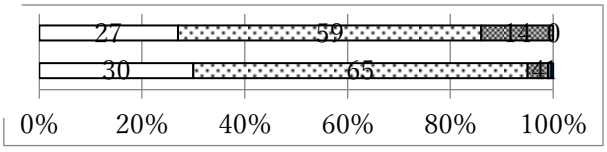
保護者



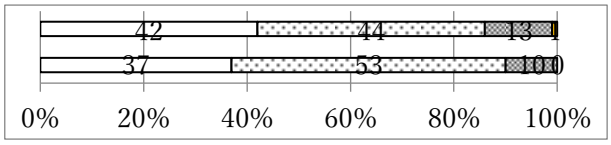
どの項目においてもおおむねできているとの回答をいただきました。特にタブレット端末をとても有効に活用しているという児童の割合が大幅に増えたことは、学びのツールの一つとして定着してきたと考えます。
一方で、家庭学習の習慣がとても身に付いたと思える児童が減ったことは、昨年度の結果からの自分の見方が厳しくなったことも考えられますが、継続して取り組んでいける工夫をしていきます。また、ご家庭でのご協力もお願いします。

【豊かな心】
思いやりの心をもって行動している。

児　童

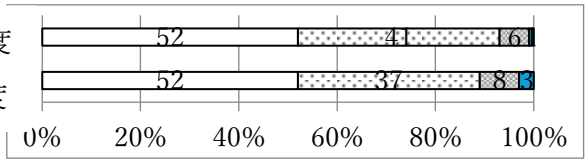


保護者

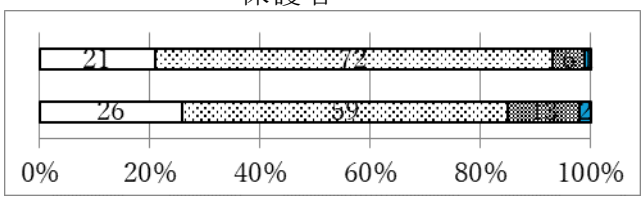


学校が心を安定させ、落ち着いて生活できる場になっている。

児　童

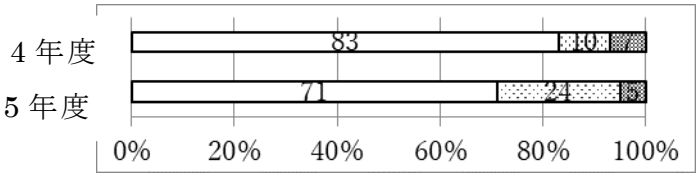


保護者

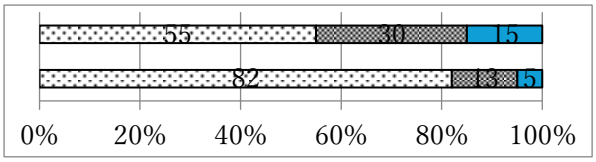


困ったことがあったとき、相談してみようと思う先生がいる。
（この項目に関しては、それぞれ左から　3　そう思う　2　あまり思わない　1　そう思わない）

児　童



保護者

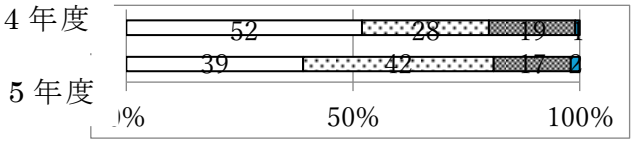


どの項目においてもおおむねそう思うとの回答をいただきました。特に「困ったことがあった時、相談しようと思う先生がいる」では、そう思うとの保護者からの回答が大幅に増えました。今後も、児童に寄り添いながら保護者の方とも密に連携を図っていきたいと思います。

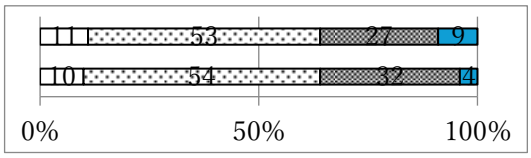
また、「思いやりの心をもって行動している」の項目については、児童・保護者とも 90%を超えたことは、様々な教育活動において「かかわり」を大切にして取り組んできた成果と考えます。今後も児童一人一人が自己肯定感をもって、相手を思いやることができる児童の育成に取り組んでいきます。

【輝く未来】
自分が得意なもの、向いているものについて考える（学校はそういったことを考える場を提供している）。

児　童

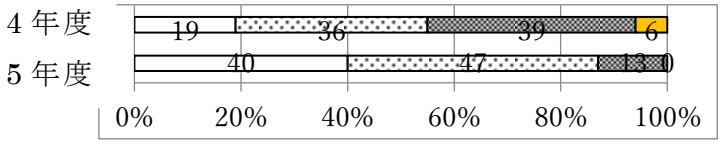


保護者

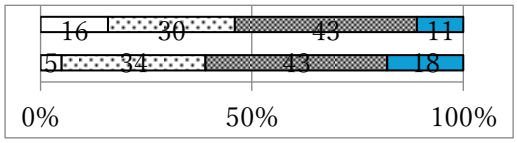


自分の将来について考えることがある（お子様は自分の将来について考えることがある）。

児　童

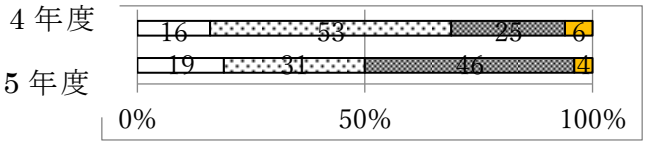


保護者

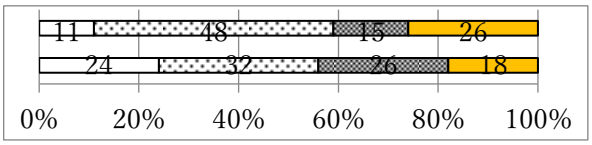


家族と自分の将来について話すことがある。

児　童



保護者



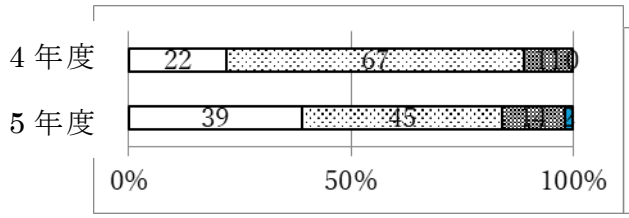
将来について考えることがあるについては、とてもそう思うと回答した児童が昨年度の倍以上に増え、そう思うを含めると 87%の回答を得ました。生活科・総合的な学習の時間などで、地域の方との関わりがさらに深まったことやキャリア教育などを通して考える機会になったと考えます。

一方で同じ項目での保護者の回答と大きく違うことや家族と自分の将来について話すことがあるの項目については、改善できるよう学校からの発信などを含め考えてまいります。

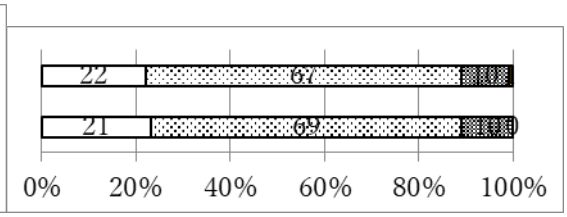
【たくましい体】

学校で体を動かしている（学校の体力向上の取組に満足している）。

児　　童

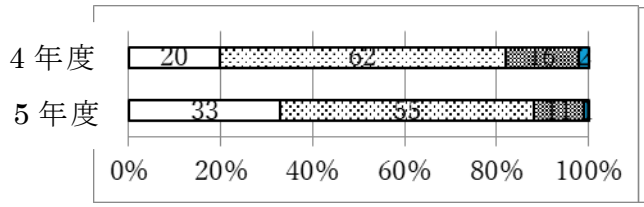


保護者

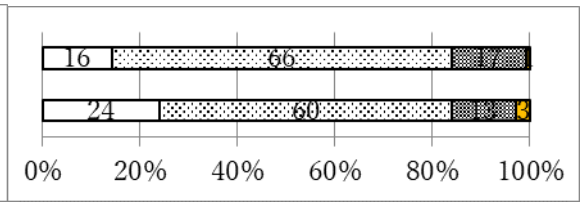


学校で学んだ安全や健康に関する知識を日常生活で生かしている。

児　　童

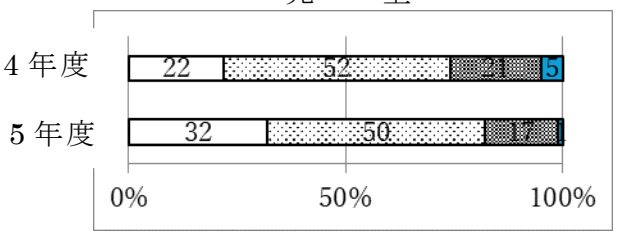


保護者

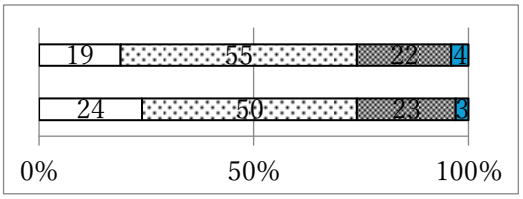


学校で学んだ正しい食事のあり方や栄養についての知識を日常生活で生かしている。

児　　童

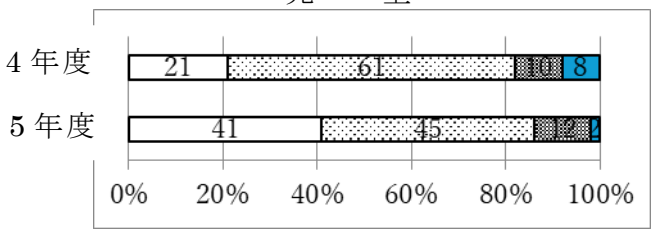


保護者

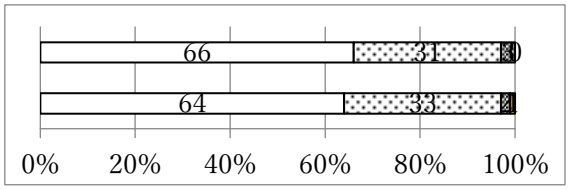


毎日同じくらいの時刻に起きている。

児　　童



保護者



どの項目においてもおおむねそう思うとの回答をいただきました。特にどの項目でも児童のとてもそう思うの回答が 10%～20%も増えていることは、本校での体力向上や食育の成果と考えます。また、グッドモーニング 60 分の取り組みなどご家庭のご協力にも感謝申し上げます。今後も児童の実態に合わせた工夫改善を図っていきます。

【子どもたちの頑張り②】

昭島市小学校展覧会（敬称省略）